

職場体験

組 番

ミニストップ福島南向台店

ミニストップでは、レジや品出しなど多くのことを体験できました。店員の方は、レジをやったり品出しをしたり、ポテトを揚げたりと様々な仕事をこなしていらっしゃるの大変だと思いました。しかも、この仕事内容を毎日するので本当にプロは素晴らしいと思いました。

テレビユー福島

「テレビユー福島」では、テレビの裏側を体験するのかと思っていました。すると、コマーシャルに出ることが決まっていたので驚きました。

スタジオでは、カメラを実際に持ってカメラマンになってみました。カメラは肩にドンと衝撃を受けるぐらい重かったです。

アナウンサーさんと、原稿を読んでコマーシャルの撮影をしました。思ったより緊張しないでスラスラ言えました。驚いたことは、コマーシャルを流すには、高い料金が必要なことです。スポット料金というのがあり、なんと十五秒で十万や二十六万円かかります。初めて知ること、やっぱりテレビ局はすごいなあと改めて感じました。

感想

今回の職場体験では二カ所で行い、本当にどちらも充実した活動体験ができ、よく学べたと思います。

店員さんになってみたり、初めてテレビに出てみたり、様々なことがあっていつもより大変でしたが、担当の方がわかりやすく優しく教えてくださったので最高の時間でした。

将来は報道に関わる仕事をしてみたいと思ったので勉強を頑張りたいです。

職場体験 新聞

組 番

福島民報新聞社で

職場体験

九月九日から三日間行った福島民報新聞社での職場体験では、新聞を作ることに関わる業務について教わりました。

編集局長へのインタビューをもとに原稿の執筆や新聞(号外)のしあげ、架空の商品の広告の製作をしました。また、オンライン新聞やホームページ、現在開発中のデジタル教材に関する説明も受けました。

福島政経懇話会例会として開かれた芥川賞作家の鈴木結生さんの講演も聴きました。



子様の様子を広告(左上)と完成した広告

一つの新聞を作るのに、たくさんの人々が関わっていることがわかりました。

新聞作りの秘訣

原稿が紙面になるまでの過程



新聞は、正しく、わかりやすく書くことが重要です。正しく、という点では、情報を正しく書く。文字を正しく書く。言葉づかいを正しく書く。などがあります。

分かりやすく、という点では、すべてを読まなくても、最初の文を読んだだけで中身がわかるように書いています。一番大事な、伝えたいことを最初にかき、次に重要なことを書き、その次に重要なことを書き、と逆三角形に記事を書いていくことを知りました。

感想

また、インタビューの内容をもとに原稿を書いているときに教わったことは、同じ言葉を出来るだけ使わないようにすることです。インタビューで、編集局長が話したことを書くので、どうしても「言った」や「語った」と終わる文章が多くなってしまう。同じ言葉ばかり繰り返すのではなく、「振り返った」や「力を込めた」など、語彙を増やすことも大事だそうです。

新聞を作ることをやっていたのかと思ったら、広告を作ったり、読者サービスを考えたり、たくさん仕事のことがあることがわかって驚きました。オンライン新聞やデジタル教材も、自分にとっては新しいものばかりでした。慣れない作業ばかりでわたしたちが教えたけど、社員の方に教えたもらいながら楽しく職場体験ができてよかったです。

職場体験新聞

in JR東日本

オフィスエイト

組 番

JR東日本

福島統括センター

僕は九月九日、十日にJR東日本福島統括センターに行きました。

まず職場に着いたら駅長さんに挨拶をして朝礼を行いました。朝礼では職場体験の意気込みを発表しました。雰囲気がよく、緊張せずに言うことができました。

次に、駅構内の見学をしました。それぞれの施設に様々な工夫がされていて驚きました。また、福島駅には二〇二三年に作られたJR福島寮があり、百人以上も住むことができます。

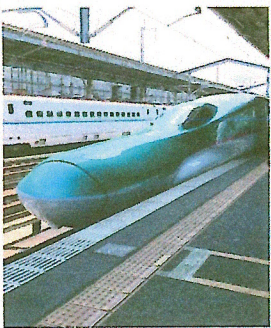
次に運転シミュレーターを行いました。車掌と運転手の両方とも体験しました。車掌さんが危険を確認したら運転手さんにすぐに知らせて停止させるなど、数百人の命の安全を背負っている分、かかる責任の大き

さはものすごく大きいので、相当な訓練を積んで仕事をされているのだと、改めて感じました。

二日目になり、次は放送案内を行いました。駅の中は音が良く響き、人の声で聞こえにくい中で、大きな声でゆっくり喋ることはとても難しかったです。

次は僕が一番印象に残った新幹線の扱いです。目の前で実際に新幹線を止めるまでの流れや他の新幹線と連結する貴重なシーンを見させていただきました。

最後に担当の方に、なぜこの職に就いたのかをお聞きすると、「大きな会社で、たくさん人の役に立つことができる仕事に就きたいと思ったときに、当てはまった仕事はJRだったからです」と答えていただきました。僕も自分に合った仕事を見つけたために色々なことにチャレンジして行きたいと思いました。



オフィスエイト

九月十一日、十二日にはオフィスエイト南福島店に行きました。まず職場の事務所に入ったら、店のエプロンを着て朝礼を行いました。「いらっしやいませ」などの基本的な挨拶などを店長さんに続けて言いました。

次に、外掃除を行いました。ゴミ拾いや窓拭きなど店の外観をよくすることは、お客様が気持ちよく店に入ることに繋がっていると感じました。

残りの時間は商品補充や前出しなどを行いました。商品補充をしている間、よくお客様とすれ違うことがあったので、毎度挨拶をするのはすごく大変でした。でも、仕事に全力で取り組んで休憩に入った時は、達成感ですごくいい気持ちになりました。

この貴重な職場体験活動を通して得たものはたくさんありました。僕たちを快く受け入れていただいた方々に改めて感謝を伝えたいと思いました。



阿武隈急行での

職場体験

組 番

阿武隈急行 福島駅で 駅の業務を体験

僕は、職場体験で阿武隈急行株式会社の福島駅で9月8日～9月12日に駅員の業務を体験しました。

活動内容

- 1日目 集改札業務、アナウンス、ゴミ集め
- 2日目 集改札業務、アナウンス、トイレ掃除
- 3日目 集改札業務、アナウンス、ホーム掃除
- 4日目 ハンコ押し、集改札業務、アナウンス、お客様の案内
- 5日目 体験乗車、集改札業務



集改札業務は、阿武隈急行線と飯坂線の乗客の切符の受け取りなどをします。挨拶を忘れてはいけません。また、電車の発車時刻を知らず仕事もありました。アナウンスは、電車の発車時間や来るタイミングを知らせます。

お客様の案内は、

切符の購入の方法や乗り換えの方法が難しいのでたくさん間違える人がいるので大変でした。自分もその方法を理解していかないといけないと案内できないので難しかったです。体験活動中は校外学習などで多くの小学生が来しました。その時に、小学生にお仕事頑張ってくださいと言われたのが一番印象に残っています。他にも、毎日電車に乗るおばあさんたちと話をしたのも印象に残っています。駅長さんには、お客様の立場になって接客をすることの大切さを教えてもらいました。駅員の人たちは全員とても親切で業務の内容や仕事の手伝いをしてくれました。

電車の体験乗車

最終日では、電車の体験乗車をさせていただきました。電車の発車時の指差し確認が何のためにあるのかや、電車の操作の方法や仕事のやりがい、運転する上で大切なことを教えていただきました。



感想

駅員の人には、親切にしてください。いただき、職場体験を楽しくする事ができました。将来の仕事の選択肢に駅の仕事も増えました。

職場体験

新聞

組 番

福島赤十字病院で学んだこと

私は、九月八、九、十日に職場体験で福島赤十字病院に行きました。

一日目は、車いすの体験と、手洗いがきちんと出来ているのかの確認や一次救命処置の方法、四病棟の看護科の体験を行いました。

◎ 車いすの体験では実際に車いすに乗ったり押したりしました。

◎ 手洗いではいつも通りに洗った時と正しく洗った時の洗い残しを比べました。もちろん、汚れは正しく洗った時の方が落ちていました。

◎ 一次救命処置では、もし道を歩いている時に倒れてる人がいたらどうするかという処置の方法を学びました。

◎ 四病棟の看護科では、患者さんの髪を洗ってあげることや自立出来ない人は看護師さんのフロアから部屋が近かったり、大きい声で話しかけるといいうことを色々学び

ました。

二日目は、ボランティア、薬剤部、放射線科に行きました。

◎ ボランティア体験では、病院に初めて来た人はどのように受付をやるのかが分からない事があるので困っている人に教えてあげました。

◎ 薬剤部では粉薬・粒薬・シロップを作りました。

◎ 放射線科では全然知らなかった機械などについて学ぶことができました。

三日目は、リハビリ、臨床工学技術課、栄養課、検査部にいきま

◎ リハビリでは利き手が使えない人は逆の手で食べ物を食べないといけないので、そのリハビリを実際にやりました。

◎ 臨床工学技術課では人口呼吸器を使ってる人は毎日点検をしています。主に持ち運べる機械を点検しています。

◎ 栄養課では食生活を見直しが大事な事や栄養を取る方法、

①食事②点滴③胃に穴を開けて栄養をとる、などを学びました。

◎ 検査部には色々な機械がありました。あまり目立たない部ですがとても重要な仕事だという事を学びました。

感想

自分と他校の人と二人だけの活動でしたが仲良かったし、今まで知らなかった事が色々知れてとても勉強になりました。色々な体験も出来たのでとても楽しかったです。





わたり病院新聞

組 番

体験した場所

私は医療生協わたり病院に九月九日
〜九月十二日まで職場体験に行きまし
た。そこで体験させていただいた事、
感想をまとめます。

AED体験!

一日目はAED体験、手洗い講習、検査
技師体験をやらせていただきました。

AED体験では、AEDを使う前に肋骨圧
迫（心臓マッサージ）を行うときのリス
ムや落ち着いて行動することが大切とわ
かりました。

手洗い講習では、自分がいつも洗って
いる方法では菌が落ちきっていないこと
がわかり、ちゃんと時間をかけて洗おう
と思いました。

検査技師体験では尿検査や便の検査を
機械でやっていることがわかり、驚きま
した。また、顕微鏡で赤血球や白血球を
見せてもらい形を知ることができまし
た。

二日目は、介護士体験と看護体験を
させていただきました。

介護士体験では、高齢者の方とお話
したり体操をしたりしてふれあわせ
ていただけ楽しかったです。

看護師体験では車椅子体験やストレ
ッチャーに乗る体験、ストレッチャー
からベッドに移る体験をさせていただ
きました。車椅子を押すスピードや乗
っている人の気持ちがわかりました。

リハビリスタッフ体験

三日目はリハビリスタッフ体験、看
護体験をさせていただきました。

リハビリスタッフ体験ではAFOや
KAFOという器具をつけて歩く体験や
日常生活に戻るために台所がリハビリ
ステーションに設けられていることが
わかりました。

看護体験では、リハビリをするため
に入院している高齢者の方と昭和や平
成、令和のことについてのクイズを楽
しむことができました。



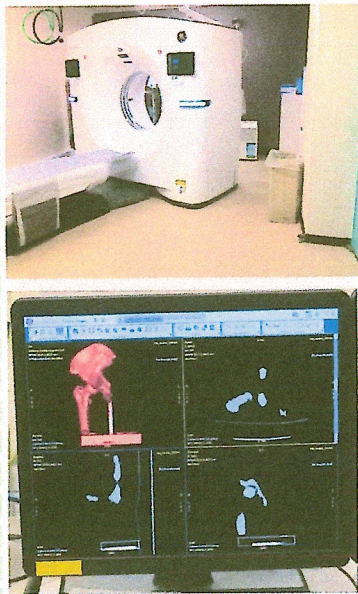
事務、心理士、放射線技士体験

四日目は事務体験、臨床心理士体
験、放射線技師体験をさせていただ
きました。

事務体験では自分の電子カルテを
探したり薬の効果を調べました。

心理士体験では自分の今の感情を
色で表したりしました。

放射線技師体験では、タオルの中
身を当てるのが楽しかったです。



編集後記

今回の職場体験を通して、医
療生協の仕組みや病院の仕事内
容を学ばせていただきました。
職場体験で学ばせていただいた
事を活かして将来のことを少し
ずつ考えていけるようにしたい
です。

職場体験



渡利保育所へ

組 番

渡利保育所に行ったよ

私たちは、九月八日～九月十二日の五日間で渡利保育所で、子供たちのお世話や、先生たちのお手伝いを体験しました。

活動内容

子どもたちと一緒に遊ぶのが主な活動でした。

晴れている日は外で遊んで、雨が降っている日は遊戯室で体を動かして遊んだり、部屋の中でも楽しそうにしていたりする姿がたくさん見られました。

子どもたちの寝る時間になると寝かしつけをしました。みんなが寝た後は掃除や片付けなどの仕事をして、保育所で使うものなどを手作りで作ったりしました。楽しさと大変さを学ぶことができたのでよかったです。

体験活動中のエピソード

園児あるあるエピソードを発見した！

一つ目は三歳児のクラスは特にでしたが、給食の時間になり各テーブルに分かれてご飯を食べていると、たくさん話しかけてくれて嬉しかったけれど…

全くと飯が食べられない!!

二つ目は「絵本読んで」と可愛く言ってくれる子たちばかりで順番に読んでいたけど…
いつの間にか居なくなってる

私は保育所で体験した中でもこの二つが印象でした。

「絵本を読んで」と言ってくれた本人が居なくなっても他の子が見てくれてたのでよかったです。とても安心しました。

感想

先生の立場になって渡利保育所のみならずふれあい、多くのことを学びました。どのクラスに行っても最初は緊張も、不安だった部分もありましたが、みんな明るくて優しい子たちばかりでした。どこに片付いたら良いかわからない時、「ここに片付けるんだよ!」と教えてくれたり、人形の名前まで教えてくれたり、子どもたちから学ぶこともたくさんあってよい経験になりました。

私は、「子どもたちが好きだから」という理由以外に「先生たちの大変さも知りたい」と思い体験先を選びました。実際に経験してみても、子どもたちのお世話をし、みんなが寝たら掃除や片付けの仕事に頑張っていることがわかり大変さを実感することができました。

今後活かそう

今回あった職場体験で学んだことを将来に繋げられるように、働くことの大切さを忘れずに頑張っていけたら良いと思いました。

渡利幼稚園 新聞



組 番

私は渡利幼稚園で九月八日から九月十二日の五日間職場体験をさせていただききました。

活動内容

1日の活動(大体)

活動時間	活動内容
9:00~9:03	→ チャレンジタイム
9:05~10:30	→ 自由時間
10:45~11:30	→ その日による活動(ドン!じゃんけん、パルーン、リレーなど)
11:45~12:20	→ 昼食(食べ終わった人から塗り絵や粘土など)
12:30~13:30	→ 自由時間
13:38~13:55	→ 帰りの用意、挨拶、読み聞かせ
13:58~14:03	→ 掃除

- ・ 草むしり
 - ・ 次の時間に活動する準備
 - ・ イベントで使うメダル開封やシール貼り
 - ・ 子供達と仲良く楽しく遊ぶなど
- 子供達とフラフープや縄跳び、塗り絵、折り紙、外で虫取りなど色々な遊びをみんなでした。

体験活動中のエピソード

〈喧嘩〉

眠くなって寝ようとした子供が周りがうるさくて怒り、近くで遊んでいた子と口論になってしまいました。そこへ先生がすぐに駆け寄り、それぞれの気持ちを丁寧に聞いていました。「静かにして欲しかったんだよね」「遊びたい気持ちもわかるよ」と両方受け止めて語りかけると、子供達は少しずつ落ち着きを取り戻しました。最後には、二人は笑顔で仲直りしていました。私は、その場面を見て、人の気持ちに寄り添い、冷静にまとめる先生の姿にとっても感心しました。

〈昼食の時間牛乳をこぼした〉

昼食の時間子供が牛乳をこぼしてしまいました。そこを見ていた私は手伝おうと立ち上がりましたが、先生から「自分のことは自分でやらせてね」と言われました。その子は最初戸惑いましたが、自分でティッシュを使って片付け、最後には「できた!」と笑顔を見せました。その姿を見て、私はとても安心しました。この出来事から、すぐ助けるのではなく、子供自身にやらせて見守ることが大切だと学びました。

〈虫取り〉

子供達と虫取りをしました。子供達と一緒にあみでバッタや蝶を捕まえたのですが、その後カゴに入れる時に、私はどうしても手で虫を掴むことができませんでした。すると、先生がサッと掴み、あっという間にバッタをカゴの中へ入れてしまいました。私は「先生ってすごい!」と強く感じました。子供達と遊ぶだけでなく、虫や自然とも関わる力が必要なんだと思いました。

感想

今回の職場体験を通して、子供一人一人の性格を見て、どう接していいのかを考えながら活動するのがとても大変だと思いました。それを毎日やっている幼稚園の先生方とても尊敬できました。

初めて幼稚園に行った時、みんなと仲良くなれるか心配で緊張していましたが、「一緒に遊ぼう!」と声をかけてくれて、とても楽しく過ごすことができました。

私は、渡利幼稚園卒園児だったので、お遊戯室やおままごとセットなどとても懐かしく感じました。年少の時の先生にも会うことができました、とても嬉しかったです。

最後の日が行けなかったことがとても悲しいですが、子供達ととても仲良く楽しく活動できたので良かったなと思いました。

先生方は子供達の気持ちに寄り添いながら活動していて、子供達が安心して過ごせる理由がよくわかりました。子供と関わる仕事の大変さややりがいを感じました。将来の進路を考えるきっかけにしたいです。



ミスド新聞inミスタードーナツ 福島南バイパスショップ店

検察庁
▽ミスド新聞

組 番

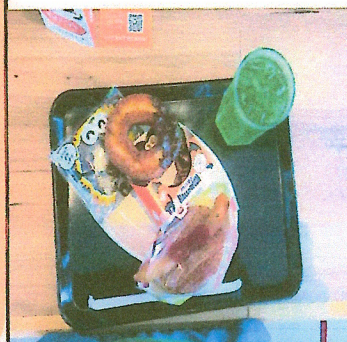
僕は九月八日、十日、十一日にミスタードーナツ福島南バイパスショップ店に行きました。

一日目は、お客さんがドーナツを取りやすくする「前だし」やドーナツの補充をしました。皿洗いや机・いすを消毒液できれいにするなどの掃除をして、一日目が終わりました。二日目、三日目も同じような形でしたが、二日目はドーナツが作られる過程を見せてもらい、三日目は、外・内側の窓拭きをさせていただきました。

ミスドのまとめ

ミスタードーナツの職場体験では、休憩以外では座ることができず、そのうえドーナツの補充、

掃除で体力を使うため、帰る時に毎回疲れました。接客やドーナツを作っているらしいやる僕より体力を使っている店員さんは平然な顔をしていました。職場体験前では当たり前だと思っていました。が、今になってはとてもすごいことだと感じました。



福島地方検察庁で検察官の仕事を見学!

僕は九月九日に福島地方検察庁に行きました。

最初は教室のような場所で刑事裁判の流れや裁判官、弁護士の役割を教えていただきました。そのあと裁判所に行き、実際の裁判を見ました。そのあとは、検査官の人に質問をさせていただきました。容疑者の動機がほんの少し同情するものでしたので、復讐や嫉妬で生まれる事件以外もあるのかなと感じました。今回の裁判では事実の確認で終わりました。

検察官に質問!

Q 証拠が少ない時は不起訴になる確率が高いですか?

A 犯人の動機などが自然かどうか考えるなどして証拠が少ないから不起訴になる確率が高いというわけではない。

Q 犯人の動機に同情してしまったら自分の発言に考慮するのか?

A その動機が本当だったら発言に考慮はしますが、刑事裁判だと言いたくないことは言わなくて良いので、判断は慎重にします。

検察庁のまとめ

この体験から、証拠の重要性を学びました。なぜなら、刑事裁判で、証拠を通じて検察官が事実の確認をしているところを見て、証拠がなければ裁判の前提としたことが確認できず、証拠の重要性を感じたからです。

職場

組 番

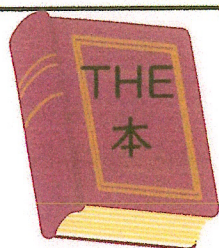
体験内容

僕は、月、水、木曜日の三日間
福島市立図書館に行きました。

初日に、図書館内を案内してもらい、想像以上に広くてびっくりしました。二階でカウンター業務という、本の貸し出しを行いました。後、書架整理という本を順番に並べたり、返本というラックにある本を元の位置に戻したりしました。

午後は、YAコーナーの特集棚作りというヤングアダルト（中高生向けの本）の紹介カードを作りました。一日目は本を決めて内容を読んで終わりました。

図書館内に置いてある本のよう
に透明フィルムを本に貼りまし
た。空気が入らないように透明フ
ィルムを貼るのは結構根気が入り
ました。



夢
夢

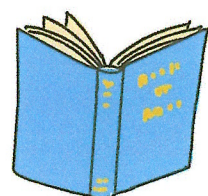


入り口

二日目は、一階でカウンター業務と書架整理をしました。市立図書館は三階ですが、裏側の本などがたくさん管理されているところは、天井をとっても低くして五階になっていて、十数年前の新聞などが、保管されていました。

午後は紹介カードを書き、レファレンスという、各自配られたプリントに書いてあることを、複数の資料で調べて書きました。意外とこの言葉が調べている分野と違っていたりしたので難しかったです。

三日目は、午前中に移動図書館で、大笹生小学校に行きました。



移動図書館では、五冊まで借りられます。小学校の子供達は前に借りた本を返しても、それがシステムに反映されないため貸出業務が難しかったです。

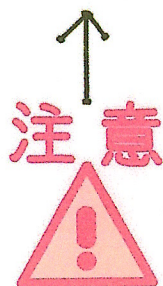
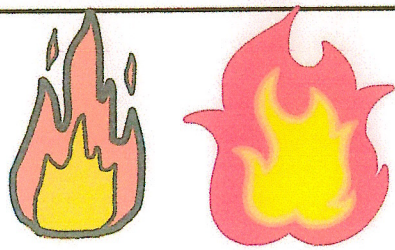
午後は、新刊本のチェックをしました。冊数、値段、請求記号、著者名、出版社などが合っているかを確認しました。その後、本の上の部分に「福島市立図書館」と書かれたハンコをおしました。これが難しく本がグニヤとなっていればハンコが押せなくなってしまうので大変でした。

これらの経験を今後に活用して頑張りたいと思います。

職業体験新聞

組 番

福島南消防署で消防士の仕事を体験



九月八日(月) 渡利中学校の職業体験がスタートした。福島南消防署に三日間体験しに行った。初日の八日は、朝の始動、車両説明、呼吸器着装訓練、規律訓練、予防に関する学習を体験した。消防士は規律が大事らしいので、挨拶や礼儀に気をつけた。予防係の人に「火事も病気も予防が大事」と教わった。自分も火事に気をつけていきたい。

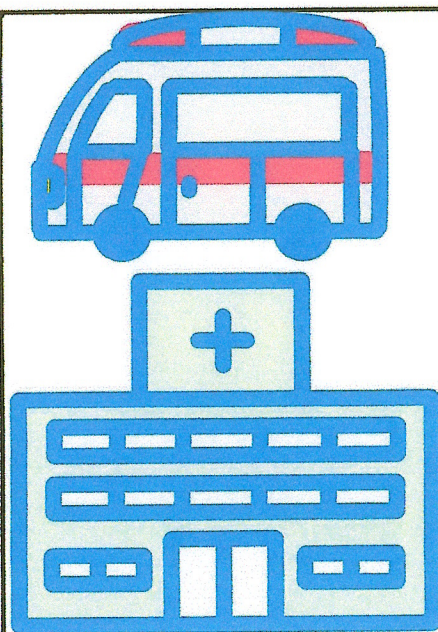
二日目 放水訓練

二日目は朝の始動、放水訓練、ロープワーク、救急に関する学習を学んだ。ロープワークでは六種類ほどのロープの結び方を学んだ。全部独特な結び方で大変だったが、覚えることができた。日常生活にも活かせるようにしたい。放水訓練は消防服とヘルメットを着着した。水を出す時の反動が強かった。隙間から水が漏れて右足がびちびちよになっちゃったが、靴と靴下を乾かしてくれた。救急に関する学習では、通報したら通信指令室に行って、消防署に連絡が行く、福島市には三署二分署三出張所があるなどということを学んだ。



三日目 心肺蘇生法

三日目は心肺蘇生法に関する学習をした。胸骨圧迫とAEDの使い方を学んだ。胸骨圧迫は疲れるし、AEDは初めて取り扱ったので大変だった。だが、何回も練習したおかげで心肺蘇生のやり方を覚えることができた。もし倒れている人がいたら率先して助けたいと思った。



編集後記

今回は職場体験で南消防署に行ってきました。僕の将来の夢は消防士なので、今回学んだことを忘れないで、夢を叶えられるように頑張りたいと思います。

職場体験新聞

3 福島地方気象台

組 番

職場体験一日目

一日目の主な体験内容は気象台の仕事ほか、予報現業室の見学、観測機器の説明と雲のでき方の説明と雲の観測、火山と地震の仕事の説明などでした。

まず、最初に担当者から諸々の福島地方気象台の歴史などの説明を受けました。明治33年に観測開始、昭和6年に福島市松木町（当時腰の浜）に移転、昭和11年、移管され改称する、昭和33年今の名前に改称する、令和5年現在の場所に移動などの気象台の歴史の説明を受けました、気象台の台長、次長などの組織関係の説明、積雪計、日照計などを使い、露場で正しい観測の説明（点検や掃除等しないとダメ）、天気予報は五時、二時、一「時に発表することは初めて知りました。特別警報、気象情報などの気象台が発表する情報、そしてどこで観測するか（例えば海の上で船を使つてとか）次に天気予報を作成するところ予報現業室に見学しに行きました。現業室ではこれまで衛生ひまわりや露場で観測資料をもとにある程度人の頭で基を決め、あとはだいたいスーパーコンピュータを使い数値予報を作りますあとは仙台の気象台などと連携し、議論をして場合によって作り直しをして完成すること伺いました。また天気予報は十時の三十分から四十九分までに発信することが法律で決められていることを

伺いました。

次に、気象観測、測器について説明を受けました。アメダスの設置箇所について全国が1300ヶ所そして、福島が60ヶ所でした。そして地域気象観測所というアメダスも含みます。そして、その露場にはさつき少し説明した通り積雪計、人体検知器、通風筒、雨量計、感雨器、視程計、全日射計、風向速計、日照計があります。それぞれの役目がありますが書くとき長くなるため、ここでは省略します。

その他に生物季節観測があります。一番分かりやすいのがよくニュースなどで目にする桜です。この辺りだと吾妻山です。またラジオゾンデという高層大気気圧などを測る物もあります。今は機械であげるのが主流だそうです。あとたくさん雲の種類についても伺いました。

次に、地震、火山についてです。まず、火山です。火山は全国に1500ヶ所あるそうです（過去二万年以内に噴火した火山が活火山）。降灰や火砕流などの噴火による災害があるそうです。活火山は監視カメラ、地震計などで見張る、そして火山性の地震もあるそうです。次に地震です。雲のでき方の説明、記者会見実習、震源決定実習でした。

職場体験一日目終わり。

二日目

二日目は露場見学や生物季節観測、天気予報実習の前の説明、天気予報実習です。

まず、最初に露場見学や生物季節観測です。これは気象台から出て徒歩10分のところに行きました。普段は入れないのですが入りました。これはさつき説明した測器の稼働している、測器を見ました。凄かったです。その中でも高所にある日照計を見ました。登り降りがすごく怖かったです。生物季節観測は植物を見ました。

天気予報実習等は天気予報ができるまで、資料の種類や発表や予報の種類、予報用語、ややこしい「所のより」の説明を午前中に受けました。次に、天気予報を作り発表する実習です。もらった資料をもとに当番者支援システムと言うものを元に天気予報を作りその完成した天気予報を発表します。その発表の仕方は一人一項目ずつです。その発表はとてもドキドキしました。

職場体験最終日終わり。



↑もらった資料の一つ何か気象庁の全てが書いてあると言っていました。余りだから裏と表の写真です。

感想

日頃に入れない所に入ったり、初めて聞く言葉も多かったです。短い期間でしたが、濃く充実した職場体験になりました。

職場体験

新聞

組 番

私は九日、十一日十二日にペッツ・マム南福島店で職場体験をしました

初日の仕事

私は初日の九日まず初めに商品棚の下をモップがけをしました。○くんと半分ずつモップがけをして綺麗にしました。

モップがけが終わった後次はカゴ拭きをしました。タオルにアルコールを染み込ませたもので拭いて綺麗にしました。カゴを綺麗に吹いている途中お店が開店して拭きながら接客をしました。

次は品出しをしました。指定された場所に品出しをしました。品出しをするときは賞味期限の早いものを前に出すこと、違う商品が置かれていたら元の場所に戻す、前出しをしてお客様に取りやすい位置に持ってくるなど教えてもらいました。

二日目

二日目の木曜日はまず品出しをしました。初日より多い量の品出しをして少し大変でしたがやりがいがありました。場所がわからないものは担当の方や、従業員のかたに教えてもらい品出しをしました。

爬虫類

次は爬虫類の入っている虫かご？の中に入っている水入れなどの容器交換をしました。虫かごの中にキッチンペーパーのような紙がいてあり水を入れている入れ物がありました。爬虫類がトカゲで少し怖かったですけれど触ってみると怖くなくなんなく触ることが出来ました。カゴを水洗いしたりして爬虫類のカゴの清掃が終わりました。

清掃

その後、外にあるカート周りのほうきはきでした。思ったよりゴミがあっけびっくりしました。

三日目

三日目は主に品出しでした。朝店に入るとたくさんのカゴがありたくさん品の品出しをしました。従業員の方も手伝ってくれたためわからないところは聞いてたくさん品の品出しをしました。犬、猫のペットフードも品出ししましたが重くてなかなか大変でした。猫の缶詰などはたくさん種類があり猫砂などは重くて品出しが大変でした。品出しが終わった後は前出しをしました。一日目前出しについて教わったことを思い出しながら前出しをしました。



感想

職場体験をして店員さんの大変さを学びました。よく見る品出しも重いものも多くあるもの、私が体験したものはどれも大変でした。

職場体験

新聞

組 番

ペットワールドアミーゴ 福島南店で学んだこと

私は、職場体験でペットワールドアミーゴ福島南店に行きました。

まず一日目は商品の前出し、ホコリ取り、魚の水槽掃除をしました。

商品の前出しでは、商品の顔と言われる表のパッケージの前に向けて、お客様に見えやすいようにしたり、後ろにある商品を前に出して見やすく取りやすくしたりしました。魚（ベタ）の水槽掃除では、ベタの食べ残しやふんをスポイトで吸い取って綺麗にしました。

二日目は、ハムスターの餌水やり、魚の水換え、商品の検品をしました。

ハムスターの餌水やりでは、ハムスターの種類によって餌の大きさが違っていて、食べる量も全然違うことを知りました。商品の検品では、犬の服やおもちやが百個くらい届いて、そのバーコードを見ながら個数に間違いがないかチェックを入れていきました。犬の服にもこんなに種類があるのかとびっくりしました。

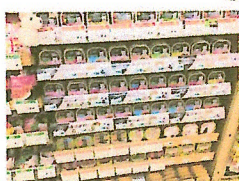


三日目は、ハムスターの皿洗い、商品補充を行いました。

商品補充では、毎週水曜日に商品が届くので、それを商品が置いてあるところに入れる作業をしました。まだその商品がどこにあるかわかえていないので、商品名を見て、ひたすらそのコーナーを探しました。商品が一番上や下にあったところは探しにくく、餌だけでも何百種類もあり、飲み物もジュースやポカリなどがありました。

編集後記

三日目はいろいろなことがありました。が、動物をサポートするための商品がたくさんあり、とても関心が湧きました。楽しい体験ができて本当に勉強になりました。





組 番

ドッグスクールコマンド で初訓練士の仕事を

体験！

・訓練士的一天

午前六時半 わんちゃんのお迎え

～職場体験活動はここから～

午前九時～十時

わんちゃんた
ちの排便や運動

～休憩～

午後一時～三時

その子に合わせ場所
を選んで訓練をする

～職場体験活動はここまで～

午後三時以降

わんちゃんたちをお家
に送って終了

・学んだこと

ハリードの持ち方V

リードの先端の輪に親指を
かけ、左手でリードを上から握
る「両手持ち」を教えてもら
いました。



・体験活動中のエピソード

職場体験でたくさんのわんちゃんた
ちと仕事をする中で、ちよつと遊ぶと
すぐにおしっこをしてしまうわんちゃ
んがいました。遊んでいる時自分にお
しっこがかからないように気をつけな
がら遊んでいました。遊んでいる途中
に、車でおしっこをしないように外で
遊びながらおしっこを全部出させた方
が、いいんじゃないかと思ったのでその
日からそのわんちゃんとはたくさん遊
ぶようにしました。

・感想

ドッグスクールコマンド

での職場体験を通じて、多
くの貴重な経験をしまし
た。まず、犬のしつけやト
レーニングの基本的な技術
について学ぶことができ、
実際に犬と接することで、
その行動や心理を理解する
重要性を実感しました。

また、犬の個性に合わせた
対応方法についても学ぶこ
とができました。特に、忍
耐力や観察力の必要性を痛
感し、今後のスキル向上に
役立てたいと考えていま
す。

この経験を通じて、動物
と人間の関わりの奥深さ
や、責任感の重要性を再認
識しました。今後もこの分
野での知識や技術を深めて
いきたいと思っています。

職場体験

西沢書店

組 番

○職場体験始まり

私は、九月八日～二日までの四日間、(一日休み)西沢書店で職場体験をしました。

一日目は、職場の方に挨拶をしました。そこで学んだことは挨拶はとても大事だということです。職場の方に挨拶をした後、店内を副店長に見せていただき、仕事内容のマニュアルや本が書店に来るまでの話をお聞きしました。

二日目からは、きちんと仕事をしました。仕事のやり方を教えてもらい、実際にやってみました。

時々挨拶の声の大きさなどで少し注意をされましたが、間違える事なく出来たので良かったと思います。お店のみなさんは、私の名前が読めませんでした。

○仕事内容

- ・掃除
- ・雑誌抜き
- ・本の検品
- ・本の常備入れ替え
- ・POP作成(最終日)

職場体験中は掃除・雑誌抜き・

本の検品をやっていました。特に初日の雑誌抜きは雑誌が全然見つからなく最後は担当の人と一緒に探しました。

二日目からは、雑誌抜きの雑誌を結構見つけることができました。

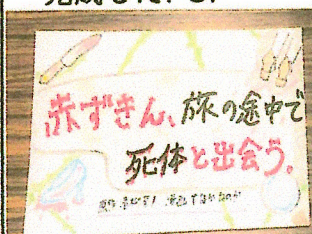
三日目からは、指示されなくても朝からやることが分かってきました。職場の方達ともおしゃべりが出来るようになりました。本の常備入れ替えは担当の人とやりました。

○POP作成

職場体験最終日は、本のPOP作りをしました。POPとは商品を宣伝・POPしたり売り場を目立たせたりするための大切なツールです。POP作成には二つの作成方法があり、一つ目はPOP・タブレットで作成する方法と自分で手描き・手作りする方法です。

西沢書店さんにはほとんどのPOPが手描きでした。私は、手描きの方で作成しました。作成をするには本選びをしなくてはなりません。好きな本を選び作成しました。作成にはとても時間がかかりました。まず、下書きで何度も失敗しました。ここをお勧めしたいというところが上手くまとまりませんでした。なんとか作り上げる事が出来ました。

完成したPOP



○編集後記

職場体験では仕事の大事さと大変さを知りました。

職場体験新聞

岩瀬書店

組 番

一日目

一日目は、品出し、シュリンク、本の補充をしました。

品出しでは、どの本がどの種類という整理が大変でした。本を置く場所を失敗する事などがあり色々大変でした。

シュリンクは、よくコミックについている本を保護する袋を熱で圧縮することです。その袋の中にコミックやライトノベルを入れて、シュリンクをする専用の機械に入れて完成というのを繰り返しやっていて、量が多いとそれだけで時間がなくなっていくます。一日目は少なかったので少ない時間でできました。

本の補充では、本を本棚に入れることが大変でした。本を入れるために隙間がないといけないので、隙間がある本棚から本を順に入れていくのです。その作業で指を怪我してしまっても痛かったです。

二日目・三日目

二日目は、シュリンクと本の返品と付録付けをしました。

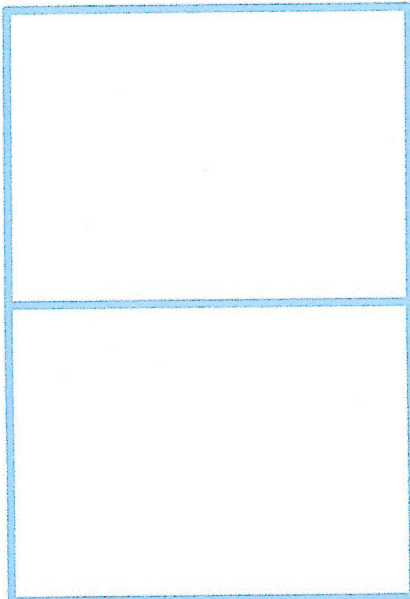
シュリンクの量が多く一人だったのでとても大変でした。

付録付けは、輪ゴムでつけるのと特殊な輪ゴムでつけるのがありました。つける時雑誌を折らないように気をつけていたら指を切ってしまいました。

返品では、本の入れ方と大切にすることを学びました。午後には、本棚を移動するために、児童書をダンボールに詰め込みました。

三日目は、本棚を移動してから、児童書と絵本の棚を交換するために二人で移動しました。絵本を入れるスペースがなくなってしまうたりして、大変な作業でした。

本の移動



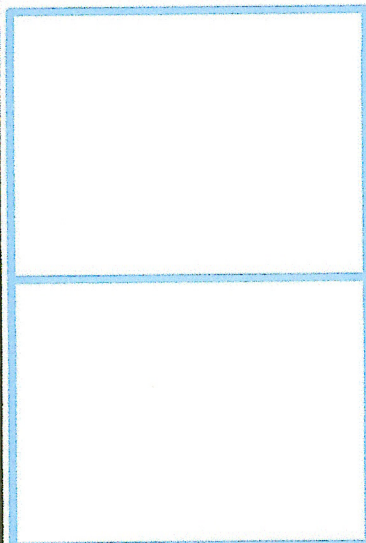
四日目・五日目

四日目は、本の返品とシュリンクをやりました。

五日目は、品出しとシュリンクと本の補充をしました。

本の補充では、二人で協力してやりました。本がどのところにあるのかを探すのを苦労しました。

本の補充



編集後記

職場体験では、大切なことを二つ学びました。

一つ目は、本を大切にすること、二つ目は、感謝をすることです。

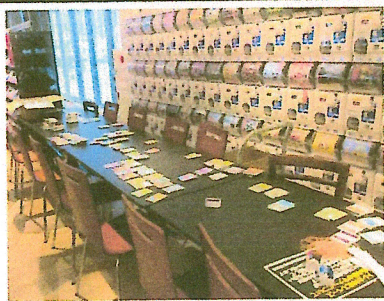
本は色々な人に届くから大切にしないといけないし、感謝をして相手も自分もいい気分になることを教えていただきました。

職場体験新聞

組 番

TSUTAYA

九月八日から五日間、私たちはTSUTAYA BOOK STORE 福島南店に職場体験に行ってきました。当日は雨で、他の社員への挨拶から始まりました。TSUTAYAでは、最初にポケモンカードの整理からやりました。始めは楽しかったですが、時間が経つにつれて扱いが雑になっていました。一、二日目はポケモンカードの整理で終わりました。「こんなものか」と少し予想外の役割でした。



本の品出し

三、四日目は本の品出しをしました。手順は、まず本の大きさに合った袋に一冊一冊本を入れていき、機械に通して密封をします。最後に手もちの機械でバーコードを読み取り番号の同じ棚にそれぞれの本を置いていきます。この立ち仕事が一時間が経過した時点で足がガタガタでした。

品出しが終わると次は、服の整頓でした。畳みかたを教わり、せっせと働いているとお客さんに「カレンダーが売っている場所はどこか」と聞かれ戸惑いながらも本の品出しをしている際にカレンダー売り場を把握していたことを思い出し、お客さんの要望に応えることができました。

最終日は新しく入ってきた本をお客さんの目がいく場所に置く作業をしました。本棚に収まるように置いていくのは大変でしたが楽しかったです。五日間お世話になりました。別れの時間は早かったですがいい経験になり、良かったです。

あとがき

この体験を活かし、日常でも手伝いや挨拶に役立てていきたいです。

職場体験新聞

組 番

私は職場体験でヘアメイク・アンティという美容室に行ってきました。事前訪問に行けなかったのですが、最初はとても不安だったけど丁寧に教えてくれました。

〈活動内容〉

一日目、最初に掃除をしました。一人は下に落ちていたお客様の髪の毛をほうきではいて、もう一人は窓や鏡をふきました。きをしました。次にタオルを畳みました。タオルにも種類がある事を知りました。次にお客様の髪を二人で乾かしました。最初は分からなかったけど、やり方を教えて下さり少しずつやり方が分かりました。お客様も喋りかけて下さりとても話しやすいかったです。

二日目は、従業員の方と学校と高校の話もしました。最後に掃き掃除をしました。

〈活動日〉

九月十一日、十二日です。

〈事業所の方へのインタビュー〉

インタビューを三個ぐらいしました。

Q 一番いいシャンプーは何ですか？

A 自分の髪質によって変わる

Q 一番いいアイロンは何ですか？

A 多分リファのアイロン

Q 美容室になるには何年ぐらいかかりましたか？

A 専門学校を含まなかったら一年間くらい。他の県に行っているいろいろ学んだ。

〈感想〉

初めて職場体験をして普段は美容師さんにやってもらう側だから作業してる所を見て貴重な時間でした。職場体験で学んだ事を日常生活に活かしていきたいです。楽しかったです。

活動内容

- ・ゴミ集め
- ・使ったタオルを洗濯する
- ・干す
- ・お客さんに挨拶
- ・ポスター作り
- ・体験
- ・ホットカーラー
- ・カット
- ・パーマ
- ・ストレートアイロン
- ・ヘアアレンジ

活動日

9月8日(月)

9月12日(木)

体験活動中のエピソード

一日目は、髪の毛の掃除をしました。初めての体験で難しいと考えていたけど担当の人が優しく教えてくれました。

二日目は、使ったタオルの洗濯をしました。洗濯機の使い方がわかっていなかったのが教えてもらいました。干すのもやったのでやっていくうちに慣れていきました。

三日目は、二日目と一緒に、洗濯と掃除をやりました。

四日目はパーマをかけている人の手伝いをしました。仕事が多く感じて大変でした。

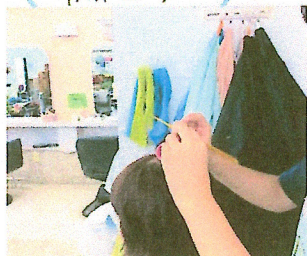
感想

初めての職場体験で緊張がある中わからないうちにも多かったです。担当の人や一緒に働いている人たちが優しく教えてくれたり体験をさせてもらったり時にもコツなど簡単に教えてくれたりとても嬉しく楽しかったです。

パーマをした時の写真



ホットカーラー



体験新聞

宮南向台学童クラブ
くじら

組 番

子どもたちと遊ぶ

前の掃除

私たちはまず子どもたちが帰ってくる前に掃除をしました。
先生が「帰ってくる前に綺麗にしておくという準備も大切」とおっしゃっていて「自分たちの時にもこんな工夫がされていたんだな」と感じました。
そこで、私たちも子どもたちと気持ち良く遊べるようにしっかり綺麗に頼まれたところを全部掃除しました。
テーブルを拭くことや、オモチャを綺麗にすること、本棚や文具の整理をしました。

ダニボールと壁

いよいよ

遊ぶ時間

掃除した後は、いよいよ遊ぶ時間になります！

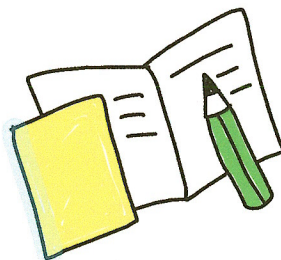
初めは一年生から順番に帰ってくるのでみんなに宿題を教えるから、遊びます。私は一年や三年の低学年女子と遊びました。学童の職場体験は十、十一、十二の三日間でした。三日とも公園に三時頃から行きました。

室内での遊びは、本をみんなで見たりして、公園では、「遊ぼう！」と誘われた子とブランコやターザンロープ、ジャングルジムなどをしていました。

公園から帰ってきたら、おやつになります。おやつ出しを手伝ったりしました。その後は掃除をしました。三日間子どもたちも楽しく遊んでいたの、良かったと思います。

宿題を教える！

学校から学童へ帰ってくる、遊ぶ前に、子どもたちに宿題をさせ、宿題を教えました。私は一年生たちを中心に教えていました。みんな結構出来ているので教える必要がなく素晴らしいと思いました。
みんなに宿題を帰ってきたら遊ぶ前にやるのはなんでだろうと聞いたたら、「家に帰っても出来るように」と先生方がおっしゃっていて「なるほど」と実感しました。



振り返り・まとめ

この三日間で、あっという間だったけど学童という自分たちが行っていたところを次は先生という立場で体験できたので良かったです。
将来もこういう経験が活かされたらいいなと思いました。

『職場体験新聞』

組 番

リビエール

職場体験で、杉妻会館の中にあるレストランに行きました。

○接客

入ってきたお客さんに水を出したり、おしぼりを出したりしました。二日目からは、オーダーを聞いたり、聞いたオーダーを厨房に伝えたり、下の階の厨房にも、放送で伝えたりしました。お客さんと話す機会もあったので、楽しかったです。挨拶もしっかりできたので良かったと思います。



○料理はこび

お客さんに料理を運んだりしました。こぼさないように気をつけて運べたので良かったと思います。オーダーもしっかり聞いて良かったです。

○片付け

食べ終わった食器を片付けたり、机を拭いたり、洗い終わった箸などを元に戻したりしました。洗い物もあって、片付けも大変な仕事だと思いました。

ホテル福島

グリーンパレス

グリーンパレスでは、グリーンパレスの建物の中にある「楓」というレストランで職場体験をしました。

○準備

グリーンパレスでは、リビエールと同じく、接客や、料理運びを行いました。が、ドリンクバーの準備が印象に残っています。洗い終わったコップや、グラスをふいて、ドリンクバーのところにしり、飲み物を作ったり、コーヒーを入れたりしました。初めてだったので、楽しかったです。



感想

レストランで職場体験をして、今まで知らなかった飲食店の良い部分を知ることができて、良かったです。ラジウム卵ももらえて嬉しかったです。職場体験で学んだことを日常にも活かせるように頑張りたいです。

職場体験

in グランパーク

組 番

色々な設備があるホテル
グランパークエクセル福島恵比寿

僕は職場体験でグランパークエクセル福島恵比寿に行って、三日間体験をしました。

まず館内案内をして頂き、大浴場や宴会場やライブハウスを見学してきました。さらに客室の種類ごとに見学して、市内のホテルについても学びました。

グランパークホテルは三階から七階までで百一室あるそうです。八階にはビアガーデンを行っているオープンテラスもありました。



ライブハウス
CLUB EX



レストラン

一日目 フロント

フロント業務では、まずルームリストをもらって、部屋の略称を覚えてどんな部屋タイプか理解しました。例えば右のような記号です。

TX	デラックスツイン
D	ダブル
TR	トリプルルーム
T	ツイン
S	シングル
S	禁煙室
N	禁煙室

その記号を覚えてパソコンで処理し、予約の種類と部屋タイプ、部屋の空きを考えて部屋を割り振る作業をしました。工夫やコツがあり、とても楽しかったです。



二、三日目 客室清掃

客室清掃では枕カバーとふとんカバーをはがしました。そして枕カバーを新しいものに変えました。使ったカバーをクリーニングの袋に入れました。次に、枕の角度を調節し、シャンプーやボディソープを補充して、落とし物を拾いました。さらにゴミ箱のゴミを回収し、トイレ掃除と個室のお風呂掃除をしました。一番大変だったのは、浴室の、水滴一滴や髪の毛一本も落としてはいけないうことでした。

感想

今回の職場体験で、他の人のためにすることは普段自分にするよりも丁寧にやらなければいけないと学びました。とても楽しかったです。

杉妻会館

組 番

私は、九月八日～十二日に職場体験で杉妻会館に行きました。

〈活動内容〉

- 八日
- ・打ち合わせ
 - ・施設紹介
 - ・フロント受付
 - ・そば屋手伝い
 - ・パソコンのやり方
- 九日
- ・銀行
 - ・郵便届け
 - ・ハンコ押し
 - ・県知事などにあいさつ
 - ・そば屋手伝い
 - ・フロントあいさつ
- 十日
- ・フロントあいさつ
 - ・電話の練習



- ・そば屋手伝い
- ・フロントあいさつ
- ・予約打ち込み
- ・机運び
- ・ハンコ押し

十一日

- ・看板作り
- ・水さし

- ・ラジウム卵の置物作り

- ・フロントあいさつ

- ・そば屋手伝い

- ・写真撮影

- ・チラシ作り

十二日

- ・看板作り

- ・銀行

- ・県庁郵便届け

- ・ハンコ押し

- ・そば屋手伝い

- ・宿泊パソコン打ち



〈職場体験エピソード〉

とても難しかった作業は予約パソコン打ちです。色々な選択があって教えてもらっても難しく覚えてきた三日目などはスラスラできるようになりました。

職場体験二日目の九日に県知事が杉妻会館に来ました。

その時はフロントであいさつをしていました。県知事が入る時と帰る時に話しかけてくれました。帰る時には写真を撮ってもらいました。

そしてとてもおいしかったまかないが印象に残っています。職場体験の事前訪問の時にそばかうとんでいいなと言ってくれたけど、一日目はそば、二日目はお弁当、三日目はチャーハン、四日目はカレーうどん、最後の五日目はナポリタンとチキンを食べました。毎日とてもおいしかったです。

〈感想〉

職場体験が始まる前はとても緊張していました。ですが、教えてくれる人や社員の方は全員優しくかったです。なので職場体験五日間とても楽しかったです。職場体験で学んだことを活かして将来に繋がっていきたいと思いました。また、だれにでもあいさつをして、自分から手伝えることを学びました。

喜久寿し新聞

組 番

醤油のパック作りを体験

職場体験初日は醤油のパック作りをしました。掃除が終わり、はじめての体験だったのですごく楽しみにしていました。醤油の小さなボトルを百個作ります。難しくて何回かこぼしてしまいました。後半になると少しずつなれてきて早く正確にできるようになりました。職場体験最終日にも醤油のパック作りを行いました。そのときは初日より凄く早くボトルに醤油を詰めることができました。

ボトルを作るのは凄く大変だと思いましたがやってみると楽しくてすぐに終わりました。

大根おろしを作る

二日目はお客さんのために大根おろしを作りました。大根おろしは後半になるにつれて腕が痛くなってきた大変でした。三人で交代しながらがんばりました。大根が小さくなってくると腕もおろしてしまいそうで怖かったです。

開店後の活動

掃除でテーブルを掃除中

十一時からはお客さんが来たらはし、おしぼり、小皿とお茶だしを行います。注文を聞いて料理ができたからお客さんのところに持っていくきます。

最終日の体験

お客さんが帰ったら食器を下げて台拭きでテーブルを拭きます。厨房では皿洗いと皿ふき、おすいものを作る作業を行います。

最終日は掃除をしたあと、エビを作るのでくしを刺す作業と殻むきを行いました。くし刺しはエビをまっすぐにして頭から尻尾のほうにくしを刺します。殻むきは尻尾がとれないように一つ一つ丁寧に手作業で殻をむいていきます。殻むきは得意で一回も失敗せずに殻をむくことができました。

そのあとはなんと自分たちでお寿司を握りました。お寿司を一つ握るのにもたくさんの手順があって、凄く難しかったです。ですが、凄く楽しかったです。

するがや新聞

組 番

一日目

一日目はまず挨拶をして基本のことを教えてもらいました。最初に野菜を容器などに入れる仕事をしたり出来上がった惣菜を棚に入れる仕事を行いました。一日目で一番印象に残ったことは、食器に野菜をはかって容器に入れることが難しかったです。

二日目

二日目は店にだす野菜をはかって容器に入れた後にお店を開くためにシャッターをお店の人と協力して開けました。お客さんが来たら「いらっしゃいませ」といいお客さんが帰ったら「ありがとうございました。」といいました。他にも発泡スチロールの容器に鯖などを入れました。午後には、トレーからなくなった揚げ物を裏に持って行って補充をしました。

三日目

三日目では裏に入って卵のからむきや玉ねぎの皮剥きなどを行いました。たまごの殻を剥くときに卵が割れないようにするのが難しかったです。

四日目

四日目はにんじんの皮剥きをしました。後は一、二、三日目と同じようなことをしました。

五日目

最初に野菜を容器に入れて11時30分になったら自分のお弁当作りをしました。昼に作ったお弁当を食べました。自分で作ったお弁当はとてもおいしかったです。

感想

今回の職場体験で普段行うことができないような貴重な体験を行うことができてよかったです。

職場体験新聞

組 番

そば処 Q庵

僕は九月九日から十二日の四日間そば処Q庵に行きました。Q庵は三人でやっているお店で来た時少ないなと思いました。Q庵では十割そばというそばの中でも作るのが難しいそばで十割は小麦粉を使わずに蕎麦粉100%で作っているから十割そばというのです。このため、そば本来の濃厚な風味と香りがダイレクトに感じられ、噛むほどにそばの甘みと風味が広がる一方、つなぎのある蕎麦よりもざらりとした独特の舌触りと、歯で噛み切るようなそばの粒感が楽しめるということを教えていただきました。



体験活動のエピソード

Q庵は、お茶出しや注文を取ったり、品出しをしてお会計までさせていただきました。初めて入った時に、大将(店主)さんに「そば打ちはスポーツだから」と言われて驚きました。開店してからはお客さんがたくさんきてこの人数で回るのかななどと思っていました。最初の頃はなかなか慣れず注文を取るのに時間がかかってしまったりしたのですが、日が経つにつれて慣れてきてスムーズに進みました。営業が終了した後はお昼ご飯を出していただきました。



↑お昼ご飯

最終日には十割そばのそば打ちをさせていただきました。まずそば粉を入れ、水とお湯をそれぞれ入れ、こねこねします。その後、空気が入らないように外側に伸ばしていきます。そして、長い棒でそば粉の塊をどんどん伸ばしていくのですが、途中からヒビが入ってくるのでそこを綺麗にし叩いてまたぺったんこにします。薄さがミミくらいになった後に半分の半分の半分にして切っていくます。一人前の量が百五十グラムで切る回数が約三十回切ります。一個の作業で約十人前できます。最初に言われたそば打ちはスポーツというのを実感させてもらうことができました。

感想

Q庵ではそば打ちのことや接客など色々なことを学ばせてもらいました。将来の役に立つことを知り、大切なことも教えてもらったのでこのことを忘れないようにしたいです。

ひたちやで 和菓子に ついて学ぼう

組 番

僕は職場体験で、ひたちや菓子舗に行きました。

最初に棚を拭いてそのあとに、団子などを並べました。

一日目は友達と二人でおはぎとあげ饅頭を作りました。おはぎは米をあんこで包むのがとても難しかったです。饅頭も餡子の多さなどを調節をしなきゃで多すぎると包みづらく、少なすぎると小さくなってしまうので、そこが難しかったです。

二日目は三人で活動しました。友達と僕の二人は、昨日下ごしらえをした揚げまんじゅうを揚げ、それを包装する仕事をしました。それがかなりきつく、集中力が必要でした。

三日目はチーズケーキを作りました。チーズケーキの生地をつくったり、生地をいれる容器にバターを塗ったりしました。かなりの量があっただけにチーズケーキの生地を多めに入れなくてはいけないのが難しく大変でした。

四日目は、どら焼きを作りました。鉄板で生地を焼くのですが、あまりにもその鉄板が熱くて、生地をひっくり返すのがみんなこわくて大変でした。

みんなの焼いた生地が小さくなくなったり、大きすぎたりして、店員さんを困らせてしまいました。

僕たちがひたちや菓子舗で学んだことはお客さんに美味しく食べてもらう事だと感じました。

一日目の体験では、一人がお休みでした。そこで、二人で活動していました。自分は「これだけは勘弁してくれ」と思っていたら、案の定、もう一人が体調を崩してしまいました。そのため、一人で団子を串に刺したものを並べてました。しかし、無事、友達の体調がよくなったので一安心でした。二人に小麦粉がかかり、粉まみれになったのも良い思い出です。

編集後記

僕はひたちやさんに行って、とても楽しく職場体験を行う事ができました。このような、仕事を将来にも繋げたいと思いました。

一日・二日目

三日目 最終日

職場体験

新聞

組 番

掃除

僕は職場体験活動でサイトウキッチンに行きました。掃除は窓拭きとトイレ掃除などをしました。自分はトイレ掃除と掃き掃除をやりました。友達は窓拭きとテーブルと椅子並べをしました。その後2人で調味料入れを拭いたり箸を並べたりしました。



準備

掃除が終わった後はジャグに水を入れてカウンターに置いたりメンマをタッパの中に入れて綺麗に入れたりテーブルにはしを置いたりクロープンにスタンプを押したりしました。

配膳

定食やラーメンを作り終えたらお客様に届ける時に溢さないように気をつけて配膳をしました。定食は量が多かったので運ぶのが大変でした。お客さんに届けたら「ごゆっくりどうぞ」って言うのが恥ずかしかったです。

レジ打ち・まかない

最終日にはレジ打ちをやらせてもらいました。初めての体験だったのですごく緊張しました。

最終日の昼は店長にまかないを作ってもらいました。メンチカツが美味しかったです。



感想

今回の職場体験活動を通じて、実際の仕事の現場を間近に見学し、貴重な経験を積むことができました。普段は教室で学んでいる知識が、実際の業務の中でどのように活かされているのかを理解することができ、大変勉強になりました。

職場体験新聞 ステーキ宮

組 番

ホール業務

僕は最初の3日間、ホールの業務を体験しました。業務の内容は主に2つです。

ホール業務

- ①クリア
→クリアとは、お客様が食事をした席を清掃すること。（写真1）
- ②お冷出し
→厨房で人数分のお冷とフォーク、ナイフなどを準備し、専用のロボットにのせ、お客様の席に運ぶこと。

その他にも、お客様から色々な質問を受けました。「このコンセントでスマホを充電しても良いですか」という質問や、「ス

厨房での業務

ホール業務の後の2日間は厨房の業務を体験しました。厨房の業務は主に3つです。

厨房業務

- ①鉄板や食器洗い
→お客様が使用した食器や鉄板を洗う。
- ②肉の下準備
→細かく切られた肉の重さを測り、ラップで包んで冷凍する。（写真2）
- ③ハンバーグの下準備
→重さを測り、形を整えて冷凍する。

ーバーが動かなくなってしまうんですけどどうしたらいいですか」という質問、「配達ロボットが戻り方がわからない」などたくさん質問をされました。その中でも印象に残っているのは、「宮のたれのおかわりはありませんか」と言われ、実際にお客様に配達をしたことで、とても緊張しましたが、上手く行うことができました。

感想

これらの作業の中でも、ハンバーグの形を整えることが一番難しかったです。使用しているひき肉はとても柔らかく、何度もし敗しました。副店長さんに教えてもらいながら作業をし、綺麗な形のハンバーグを作ることができました。

写真1

写真2

今回の職場体験を通して、お客様と接客することの難しさや、飲食店で働くことの厳しさを学ぶことができました。とても大変でしたが、お客様から「ありがとうございます」や「ごちそうさまでした」と言われた時は、普段は感じることでできない嬉しい気持ちと達成感を味わうことができました。今回ので得た経験を、これから活かしていきたいです。

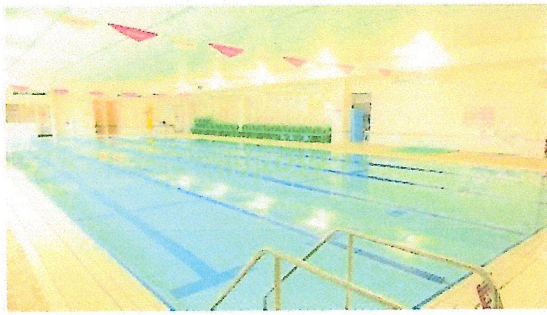
職場体験

in ルネサンス福島 24

組 番

プール

ここでは主にプールのコントロールを行いました。コントロールとは、安全管理のことです。内容はプール内の監視をするとともに、室温や湿度、水温と塩素濃度などを測定したり、人数確認や水底確認をしたりしました。また、入退室されたお客様には笑顔で挨拶することを心がけていました。



そして、三日目にはプールに入り、水中運動スクールを体験しました。さまざまな運動の中には脳トレになるような動きも混じっていて、とても楽しかったです。

テニスコート

ここでは、コートに掃除機をかけたり、袋にボールを詰めたりしました。コートにはテニスボールの繊維が散らばっているの、隅々まで掃除しました。初日には、テニス体験をしました。専用の機械で動画を撮ったり、球速などを測ったりすることができました。ラケットの中心でボールを捉えることが難しかったです。

フィットネス

ここでは、トレーニング器具や棚などを拭いたり、床をモップがけしたりしました。たくさん器具があり、見たことがないものもあって、とても面白かったです。

そして、最終日にはジムアンドランに参加しました。これはリズムに合わせて、坂道を登っているかのような負荷をかけるトレーニングです。終わると足がプルプルしました。

フロント

ここでは主に挨拶活動をしました。ルネサンス福島で働いている方々はみんな笑顔で元気に挨拶しているので、僕たちもその姿を目標に頑張りました。また、お客様が自由に使用できるタオルの残量を確認し、少ない際は補充しました。タオルの折り目などを確かめながら、向きなどを揃え、きれいに並べました。

〈編集後記〉

僕たちはルネサンス福島で四日間職場体験をしてきました。

今回の職場体験を通じて、多くのことを学び、貴重な経験を積むことができました。実際の仕事の現場では、教科書や授業だけでは得られないリアルな知識やスキルを身につけることができ、働くことの大変さややりがいを実感しました。

また、職場の皆さまには温かく迎えていただき、丁寧に指導していただいたことに感謝しています。この経験を今後の学びや進路選択に活かし、より一層努力していきたいと思っています。

最後に、この機会を与えてくださった学校の先生方や職場の皆さまに心より感謝申し上げます。

職業体験学習

日野屋楽器店

組 番

手作りの商品袋作成!

日野屋楽器店の袋は、手作りです。それでふくろ作成を手伝いました。袋は、三種類あって、それを丁寧に作りしました。

大きさが、大縦長・小とわかれて
います。

まず、紙をそれぞれのサイズにカッターで切ります。次に封筒の形に折ります。はしがずれないように折って、指先でしわにならないようにおさえます。最後にのり付けをします。液体のりを薄く程よくのびします。



一日の仕事内容

出勤

清掃

仕分け

袋作成

○自在ぼうきで

店内を掃く

○棚の整理

本・楽器を

はたきを使って
ほこりおとし

○届いた楽器を

送り先ごとに
仕分け



トランペットの

オイル刺し

最終日に商品にオイルさしの
仕事をしました。

店頭に飾ってあるトランペッ
トにオイルをさしました。

小学生の時にトロンボーンを
演奏したことはありますが、
トランペットにさわるのは初め
てでした。

お店の方が、やり方を実演し
てくださいました。

トランペットのピストンに入
れるオイルの量の調節が難し
く、初めは苦労しましたが、
やっているとうちにオイル量の調
節が上手にできるようになりま
した。

お店の方からも「上手だね」
と言われ、うれしく思いまし
た。

編集後記

いろいろと大変だったけ
ど、学ぶことが多くあり、
とても有意義な体験ができ
ました。

職場体験新聞

in

ミニストップ
福島南向台店

組 番

九月八日から九月十二日の五日間、ミニストップの職場を体験しました。

ミニストップのシンボルは、「街角のあなたに憩いの場」をイメージした家と木をモチーフに、「家庭的であたたかく、安らぎのある家になりたい」という思いが込められています。

また、安心して店舗を利用してもらうために、基本4原則を設け、「クオリティ」、「サービス」、「クリーンネス」、「品揃え」を徹底しています。



制服の特徴



- ・髪の毛が混入しないために帽子を着用
- ・汚れが目立つ素材にしている
- ・裾があたらないように半袖

制服は、清潔感と統一感を出しています。また、ファストフードの提供や食材に異物が混入しないように毎回手洗いをしています。

体験した活動

商品の陳列

朝の八時頃に業者から商品が届き、棚の商品を補充します。棚の前面と商品の間に隙間を作らないように陳列し、商品の正面が見えるようにします。手に取ってもらいやすいように細かいところまで調整します。

レジ打ち

十二時頃になると、昼ごはんを購入するお客様が多くなります。レジ袋をつけるか、弁当を温めるかを確認するのが大変でした。テンポよく対応することがポイントです。

ファストフードの作成
ミニストップではソフトクリームやポテトなどのファストフードを提供しています。ホットスナックはケースに並んでいる商品を再び揚げ直して、温かい状態で提供します。

店の掃除

ゴミ箱や、店の外の汚れを掃除しました。掃除をしてもすぐ汚れが溜まるので驚きました。特に商品の陳列棚は一ヶ月かけて掃除するため、綺麗にするのが大変でした。

店内の点検

朝の六時、十四時、二十二時の計三回、店の中の点検をします。室温やケースの温度を確認します。

編集後記

職場体験をして、挨拶の大切さや、相手の気持ちを考えて対応することを学びました。姿勢や表情でも相手に与える印象が変わるので、毎日の生活に活かしていきたいです。



職場体験新聞

いちい渡利店

組 番

九月八日～九月十一日、九月十二日までの四日間いちい渡店で職場体験をした。

勤務時間は午前九時～午後三時までで、休憩は十時三十分～四十五分、十四時～十五分までの各十五分間、昼休憩は十二時～十三時までの一時間だった。午前と午後では違う部門の仕事をした。

9:00～10:30	仕事
10:30～10:45	休憩
10:45～12:00	仕事
12:00～13:00	昼休憩
13:00～14:00	仕事
14:00～14:15	休憩
14:15～14:45	まとめ
14:45～15:00	仕事

部門の体験内容

・惣菜部門

一日目（午前）と三日目（午後）に握り寿司、巻き寿司、などを作った。

・青果部門

一日目（午後）と四日目（午後）に野菜や果物の袋詰め、箱詰め、鮮度チェックを行った。

・グロサリー部門

二日目（午前）にお菓子の品出し、補充、陳列、発注、整理をした。

・デイリー食品部門

二日目（午後）と四日目（午前）にパン、牛乳、ヨーグルト、冷凍食品などの品出し、補充、陳列、整理、賞費期限のチェックをした。

・鮮魚部門

三日目（午前）に鮮魚の盛り付けなどをした。

感想

・うれしかった・印象に残っていること
巻き寿司を上手く巻けるようになったこと。速く商品を並べるようになったこと。

・大変だったこと
体験中ほとんど立って作業すること。一つ一つ賞味期限を確認すること。

全ての作業が思っていたよりも大変で、特に食品を扱う部門では、食品を美味しくそうに見せるために丁寧に形を整えることが大切だけれど鮮度を保つために速く作業をすることの時間配分が大切だと分かった。

職場体験新聞

in 渡利小学校

組 番

職場体験スタート!

私は、渡利小学校に行きました。八日から十二日までの五日間、六年生の担当でした。先生の仕事を任せてもらったり、児童のみんなと遊んだりしました。

仕事の内容としては、宿題の丸つけ、授業のノートや連絡帳のチェックなどでした。

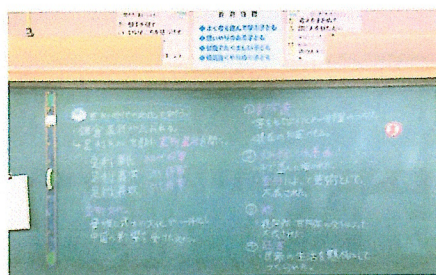
担任の先生が「字を綺麗に書かないと、花丸にしてもらえないよ」と言ったので、児童のみんなは、とても綺麗な字で書いていました。その姿を見てみると、来年中学校に入学するとは思えないほど、小さい子供のように思いました。

また、休み時間や昼休みになると、私のところに来て、中学校の校則について聞いてくる子もいました。中学校への関心が高いところにとっても驚きました。

初めての授業

職場体験の最終日に授業をしました。私は社会の歴史を選び、室町文化の単元を担当しました。授業が始まる前までは、間違っていないかと、心配で緊張していたけど、授業が始まるとみんなが楽しそうに授業を受けてくれていたので少し嬉しかったです。

授業の最後にまとめを書いてもらって、チェックしていると、授業がわかりやすかったと書いている子がいました。とても嬉しかったです。印象に残っています。



最終日

最終日に児童が企画したイベントに参加しました。椅子取りゲームをしました。みんなが楽しそうに遊んでいたのも、とても良いクラスだなと感じました。

最終日にして初めて帰りの学活に参加すると、児童のみんなが私にお礼をしてくれました。また、一部の子からは、プレゼントをもらいました。帰りの学活が終わり、みんなが教室から出ていくのを見届けると、これで職場体験も終わりなんだと実感しました。

感想

五日間の職場体験を終えて、改めて教員の仕事の大変さを実感しました。教頭先生は「教員になりたいと思う人が少なくなる中で学校という職場を選んでもくれて嬉しい」とおっしゃっていました。

私は教員になりたいからという理由で小学校を選んだわけではありませんが、教員になるというのも将来の視野に入れても良いのかなと思いました。

○小学校での一日

まず、中学生のみんなと一緒に職員室に行き、あいさつをします。その後、朝の会があるので各教室に移動します。

私は一、二年生担当でした。

一日ごとに、クラスを移動して活動しました。教室の後ろの席に座って、子どもたちの様子を見ていました。算数の問題の丸つけもしました。みんな計算問題をすらすら解いていました。時々、間違っている子もいました。「おいしいね」と声をかけると、にっこり笑って、また、解き始めていました。

体育館に移動する時、子どもたちに「並んで」と声をかけても、おしゃべりをしたり、一列にならなかったりして、大変でした。

先生の大変さがわかりました。

昼休みは子どもと一緒に遊びました。朝から「遊ぼう」と声をかけられ嬉しかったです。外ではブランコや鬼ごっこをしました。一年生に合わせて早足で走りました。みんな嬉しそうに逃げ回っていました。

教室では、授業で使う工作の準備を手伝いました。生活科で使うペットボトルを切ったり、折り紙で形を作ったりしました。子どもたちから声をかけられることが多かったです。

体育館ではドッジボールをしました。二年生と一緒に楽しむことができました。

陸上大会の練習

放課後は陸上大会の練習に参加しました。

私は走り幅跳びの練習の手伝いをしました。歩数を合わせることに、跳び方についてアドバイスをしました。私も小学生の時に走り幅跳びで大会に参加していたので懐かしく感じました。

子どもたちもアドバイスを受けて、「なるほど」と言っていました。

編集後記

職業体験の仕事は、初めてでとても大変でしたが、自分なりに頑張ってきたと思います。

久しぶりに小学校の友達や先生たちに会うことができて嬉しかったです。

この経験を今後活かしていきたいです。